

確かな学力保障部

1 テーマ

思考力・判断力・表現力の育成を目指して

2 基本方針

急激に変化する社会を子どもたちが生き抜いていくためには、生きる力を育まなければならない。子どもにとって生きる力とは、自ら「思考・判断し、そして表現する力」であると考え。そうした「生きる力」を育むために、授業作り、学級作り、学習環境作りを中心とした実践に努めていく。

3 今年度の重点

① 校内研究の充実 *重点事項

- 校内研究のテーマ
思考力・判断力・表現力を高めるための指導の工夫
～児童生徒の対話的な学びを通して～
- 目標
各教科の授業および学級での活動等において、対話的な学びの場面を取り入れ、その有効性について検証していく。
- 対話的な学びとは
他者との協働、外界との相互作用を通して自らの考えを広げ、深める学び。
- 研究授業
職員全員による参観・事前事後検討会

② 基礎的な学力・技術の定着，学ぼうとする意欲を高めるために

- 分かる授業作りのための取組（小中連携，EC，イマージョン，道徳等）
- 児童生徒の実態把握と分析，その活用（NRT，アンケート）
- 学習内容の定着を目指した「朝学習」の実施 ※2年目
（小学校：国語（漢字），算数（計算） 中学校：5教科のドリルプリント）

③ 言語力を付けるために

- 読書環境の整備と読書習慣の定着推進 *重点事項
（図書ボランティアとの連携，読書時間の確保，一斉読書の実施，**家庭との連携**）
中学部での読書習慣がDJSの課題
・**長期休みでの読書課題，読書記録での家庭との連携**
- 授業における言語活動の充実（発表，話し合い，作文，プレゼン 等）